

別表3

## NPO（ボランティア団体・市民活動団体等）からの協働事業等提案審査の視点

審査項目	審査の視点	(1)事業の構築・推進を目標とした事業提案	(2)課題の共有を目指した研究提案
		①自由テーマ	①自由テーマ
①提案の目的の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案の目的は明確かつ妥当と認められること（県庁からの募集テーマの場合は、テーマの趣旨に沿った提案であること。）</li> <li>「新しい時代の公」の考え方が提案に反映されていること。</li> <li>NPOのミッションとの関連が適当と認められること</li> </ul>	◎	◎
②提案の県との協働の必要性 (協働の効果・利点・NPOと行政の役割分担)	<ul style="list-style-type: none"> <li>NPO独自で行うことができず、県と協働で行う必要性が高い内容と認められること。</li> <li>NPO若しくは県が単独で行うより高い効果が挙げられる可能性が認められること。</li> <li>NPOと県の役割分担や公的関与の必要性が明確かつ妥当と認められること。</li> </ul>	◎	○
③提案の緊急性・重要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案の緊急性やその実施が重要と認められること。</li> </ul>	○	○
④提案の先駆性・先見性	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案内容にNPOの先駆性が活かされていると認められること。</li> <li>課題の内容に先見性が認められること。</li> </ul>	○	◎
⑤提案の具体性	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案の内容や実施方法は具体性が認められること。</li> </ul>	◎	—
⑥提案の実現性(遂行能力)	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の担当者と一緒に検討(研究)し、事業企画(研究成果)を練り上げ、事業を遂行する能力を有していると認められること。</li> </ul>	◎	○
⑦予算計画の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>予算の收支(財源の検討を含む)が妥当であり、県が負担すべきと考えられる経費、民間が負担すべきと考えられる経費が整理されていると認められること。</li> </ul>	○	—

◎特に重視する。○重視する。—審査対象外。